

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	里親促進費	担当部局庁	雇用均等・児童家庭局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和48年度	担当課室	家庭福祉課	高橋 俊之			
会計区分	年金特別会計児童手当及び子ども手当勘定	施策名	Ⅲ-1-2 地域における子ども・子育て支援策を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	児童健全育成活動支援事業等助成費の国庫補助について (平成14年3月29日付雇児発第0329008号) 子ども・子育てビジョン(平22.1.29 閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	未委託里親に対する委託の促進等を図るため、一般的里親促進事業や未委託里親ふれあいキャンプ事業等を行い、また、委託後の里親支及び里子への支援を行うための里子交流事業等を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	里親会の活動を通じて、以下の事業を行うことにより、里親事業の円滑な促進を図る。 ①里親モデル事業では、都道府県里親会・地区里親会において里親委託の促進に向けた先駆的な取り組みをモデル的に実践②里子交流事業では、里子同士の意見交換をできる場を提供③未委託里親ふれあいキャンプ事業では、未委託里親と児童養護施設等の児童との交流の場を設け、里親委託の促進④里親研修教材作成事業では、里親会や自治体が行う新規里親研修等に活用できる教材を作成 ○実施主体:(財)全国里親会 ○補助率:定額						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	15	12	14		
		補正予算					
		繰越し等					
		計	15	12	14		
		執行額	15	12	14		
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は里親委託の推進に必要な事業費であり、成果指標を示すものではない。	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業は里親委託の推進に必要な事業費であり、活動指標を示すものではない。	活動実績		-	-	-	-
		(当初見込み)		-	-	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/)	算出根拠		-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	事業費						
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	里親委託の促進に必要な事業であり、優先度が高かった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	里親会モデル事業の報告書や里親研修教材作成事業で作成された教材は全国的に配布するものであり、国が実施すべき事業であった。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	里子の交流や里親委託の促進のために必要な費用に使用が限られていた。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	里親や里子に対する支援を実施するために、全国組織である里親会が事業の実施主体となることは有効であった。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	里親会モデル事業の報告書や里親研修教材作成事業で作成された教材が全国的に配布され、広く活用されている。	
点検結果	里親委託の推進を図る一環として、平成23年度まで当該事業を実施しており、その実施状況は上記のとおり、妥当と考えられる。なお、当該事業は平成24年度に廃止している。		
予算監視・効率化チームの所見			
	-		-
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	-		-
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	839	平成23年行政事業レビュー	748

(平成23年度)

厚生労働省

交付申請の内容審査、交付決定。事業報告書等を徴収、事業内容を指導。



【補助】

A
財全国里親会
(13.9百万円)

里親モデル事業、里子交流事業等を実施。事業報告書を作成し、厚労省に提出。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(財)全国里親会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
里子交流事業費	参加費、会場借料	4.5			
研修教材作成費	印刷製本・発送、報告書・テキスト作成	4.0			
非常勤職員雇上費	研修教材作成	2.2			
里親モデル事業費	検討委員会開催、報告書作成等	1.9			
ふれあいキャンプ事	参加費、テント賃料	1.2			
計		13.9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)全国里親会	一般的里親促進事業や未委託里親ふれあいキャンプ事業等	13.9		